



Nissin Zoo has many Mysteries

環境経営レポート

日新化成工業 株式会社

2023 年度

(対象期間 2022 年11月21日～2023 年11月20日)

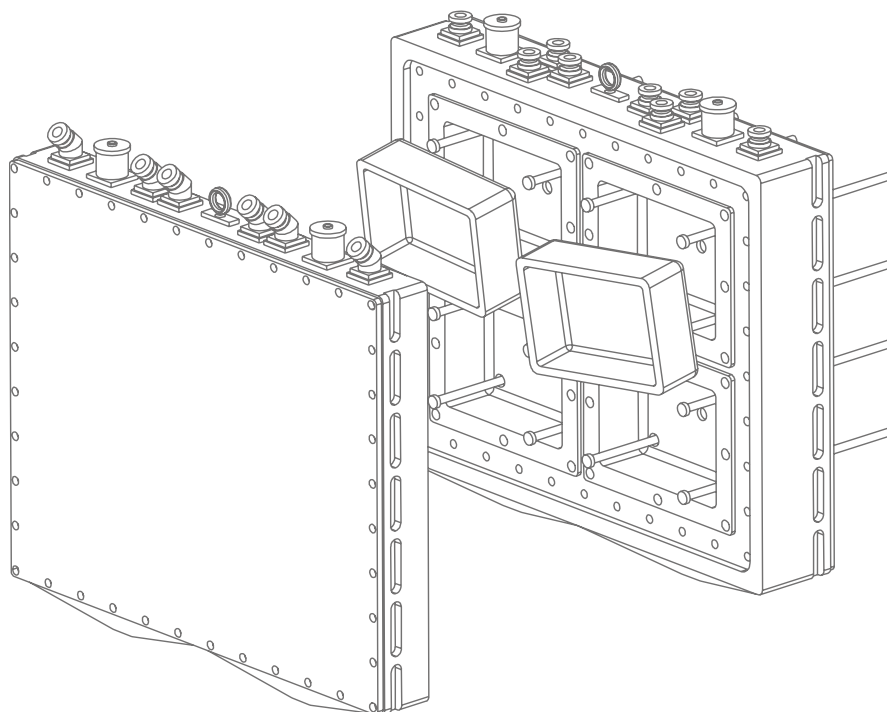


発行日： 2023年12月15日



目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	3
環境保全への行動指針	4
組織の概要	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8～10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12～13
これまでの環境活動の紹介	14



ごあいさつ

近江商人と聞いて、私が最初に思い浮かぶ言葉は、「三方よし」の精神であります。

それは、「売り手よし、買い手よし、世間よし」を心掛けなければ、商い（事業）を続けていくことは出来ないという考え（経営哲学）を端的に示した言葉です。

近江商人は他所（自分の生まれた故郷ではない地域）へ出ていき、そこで店を構えて商いに励みましたから、ご当地でよほど「世間よし」に努めないと、彼らはよそ者として排斥されるので、ご当地への恩返しに特に力をいれていたんだと聞きます。

「世間よし」というこの考えは、今まさにいろんなところで叫ばれている「SDGs」や、「カーボンニュートラル」や「エコアクション21」の根幹概念でありましょう。

当社も今般のこの「エコアクション21」を活用し、新たに環境への取り組みを「世間よし」という精神を忘れることなく従業員一丸となって取り組んで参ることと致しました。

環境経営方針

2004年2月に「環境方針」を策定・開示、以来気がつきますと18年の歳月が流れていました。私共の生業である「発泡スチロール」、そのリサイクルを含む有効利用率は、この間に70%から92%にまで伸張しております。

しかしながらわれわれの努力とは裏腹にそのことを知る世間の人たちはどれほどいるのでしょうか？

毎年12月、配偶者の方あるいはお母さんに当社の実績物にまつわるものを、クリスマスプレゼントとしてお届けする際、添付する挨拶状には今年度の業績報告とともに必ず発泡スチロールの有効利用率も明示して参りましたが、果たして当社のスタッフのご家族であっても、そのことを正しく他者に伝えることが出来る方は、発泡スチロールのリサイクル率ほどの確率でおられるとは失礼ながら思えないのが現実です。

ならば、当社と関わりを持つすべてのステークホルダーの皆さんには、接する各々のスタッフが、発泡スチロール製品の有用性（下記詳細列挙）について全員が饒舌に語ることが出来なければ、目指す「世間よし」には程遠いことをまずは悟り、継続的に環境保全のための行動の中にこの広報活動が如何に大切であるかを認識せねばなりません。

◆発泡スチロールの有用性◆

- すぐれた断熱性により、鮮度が保持され食品の品質劣化を防ぐ＝食品ロスに寄与 同様に住宅用断熱材では、冷暖房に要するエネルギーロスを最小限に抑えることに貢献。
加えて、40年間南極観測隊の昭和基地で使用された断熱材の機能低下がほとんど見られなかったことから、独立気泡という構造上、経年劣化も非常に軽微で、長期間安定的に使用が可能という面においても、昨今のスクラップ＆ビルドや使い捨て文化からの脱却という観点において、環境配慮された製品といえる。
- 冷蔵庫、エアコン、エコ給湯器などの断熱材として、省エネ（消費電力低減）に寄与。
- 家電製品等の梱包資材として、その緩衝性が、製品を衝撃から守り、不良の低減に役立っています。同様にヘルメットバンパーの芯材、防舷材などもその機能により採択されています。
- 石油由来の原料は体積比で2%、残る98%は空気で構成されているため、軽量且つ省資源な素材である。
発泡スチロールを用いた土木工法では、前述の50倍品（樹脂量体積比2%）の製品の耐圧強度（許容圧縮応力）は、5 t o n / m²もあるにも関わらず、その比重は0.02で非常に軽量で、現場での作業性にも優れている。また刃物や電熱線を利用して簡単に加工することが出来ます。
- 発泡スチロールの原料であるスチレン樹脂は、C（炭素）とH（水素）より構成された化合物であり、完全燃焼下では炭酸ガス（CO₂）と水（H₂O）になり、ダイオキシンといわれるものは発生しない。
また熱可塑性樹脂ですから熱を加えるだけで容易に再生原料（インゴットやペレット）化でき、リサイクル特性にも優れた素材である。
また原料を発泡させる際、フロン類のガスを使用しておらず、オゾン層に多大な影響のあるモノは、全製造・成形工程において使用されていない。
- 使用済みの発泡スチロールも、様々な方法で有効利用されており、約9割という高い有効利用率を維持しています。

以上のことを踏まえ、発泡スチロールはその優れた特性で地球環境を守っていることを正しく且つ客観的にお伝えすることこそが当社の一番の環境対策と考え、スタッフ一同一丸となって継続的に下記に示す行動指針に従い、自身のスキルUPと改善活動に取り組んで参ります。

環境保全への行動指針

1. 関連する環境の法／条例および、当事業所が合意したその他の要求事項を遵守します。



2. 発泡スチロールに対する正しい理解の普及と啓発を行います。



3. 主に介護・医療分野における様々な課題解決に役立つ商品の開発も積極的に進め、リユース可能なオーダーメイド商品の提供によって、発泡スチロールの使い捨てイメージを払拭して参ります。



4. 発泡スチロールの特性である断熱性、耐久性、軽量性を活かし、長期にわたり使用される断熱建材・土木資材・家電・住設・自動車部品・物流資材分野等への市場拡大に努めることで、環境負荷低減や限りある資源の消費抑制による社会貢献を果たします。



5. 創意工夫により、以下の各項目の削減・低減に努めて参ります。

- ・ 電力及び化石燃料によるCO₂排出量の低減
- ・ 水の使用量の削減
- ・ 廃棄物（一般ごみも含む）の発生抑制



6. CSR（企業の社会的責任）の観点から、地域や関係団体の環境活動に積極的に参加し、「世間よし」に貢献して参ります。



制定日：2022年11月21日

代表取締役社長 片岡 洋一

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
日新化成工業 株式会社
代表取締役社長 片岡 洋一
- (2) 所在地
本 社 大阪府高槻市三箇牧2丁目11番1号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者・担当者 管理部長 新居 慎一 TEL: 072-677-2681
- (4) 事業内容
発泡プラスチック製品販売及びセールスプロモーション企画販売
- (5) 事業の規模
売上高 1,937,249 千円 (2023年度)
- | | | |
|-------|----------------|-----------------------|
| | 本 | 社 |
| 従業員 | 名 | 10 名 |
| 延べ床面積 | m ² | 626.08 m ² |
- (6) 事業年度 11 月 21 日 ～ 11 月 20 日

□認証・登録の対象組織・活動

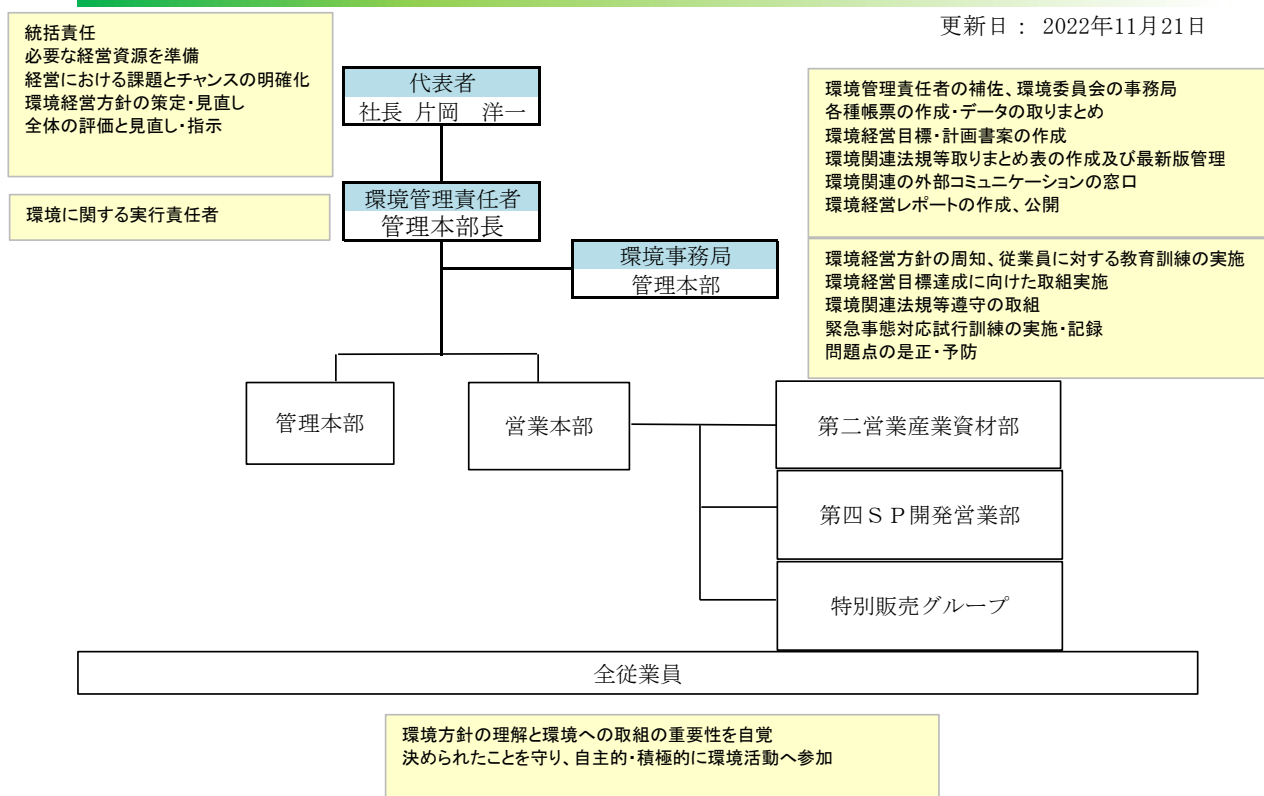
登録組織名: 日新化成工業 株式会社
対象事業所: 本 社
活動: 発泡プラスチック製品販売及びセールスプロモーション企画販売

□事業の紹介



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2022年11月21日



主な環境負荷の実績

項 目	単位		2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		25,415	22,790
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g		368	280
産業廃棄物排出量	トン		0	0
水使用量	m ³		235	252
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）			0.351	0.351

kg-CO₂/kWh
関西電力2020年度実績

環境経営目標及びその実績

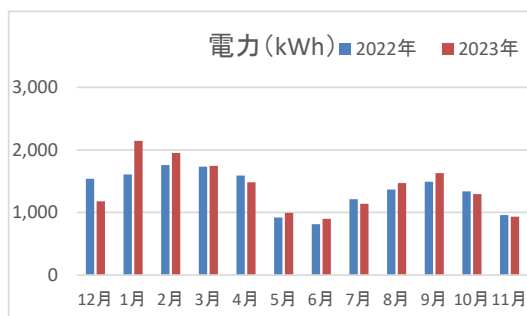
年 度 項 目		2022年	2023年		評価	2024年	2025年	
			上段：通期					
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kWh	16,325	15,999	16,854	×	15,672	15,346	
	基準年度比		98%	103%		96%	94%	
	kg-CO2	5,730	5,615	5,916	×	5,501	5,386	
	基準年度比		98%	103%		96%	94%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	19,685	19,292	16,874	○	18,898	18,504	
	基準年度比		98%	86%		96%	94%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	25,415	24,907	22,790		24,399	23,891
一般廃棄物の削減	kg	368	361	280	○	353	346	
	基準年度比		98%	76%		96%	94%	
水道水の削減	m³	235	233	252	×	228	226	
	基準年度比		99%	107%		97%	96%	
広報活動 営業活動 課題解決活動		行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	上半期の結果を受け、夏場の対策として、それまで4箇所しか設けていなかった温湿度計を計11個に増やし、夏場の28℃、冬場の21℃をキープできる職場環境の維持に啓蒙活動含め努力するも、8・9月にかぎっては平均気温で前年2℃も上回る日が続いたことで前年を上回る結果となった。次年度は、働き方改革による更なる残業時間の削減と室温の徹底管理を行う。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房21℃）	○	
・不要照明の消灯（昼休み・使用頻度の低い会議室）	△	
・使用していない部屋の空調停止	△	
・冬季以外の給湯停止	△	
・夏季（クールビズ）・冬季（ウォームビズ）の推奨	○	

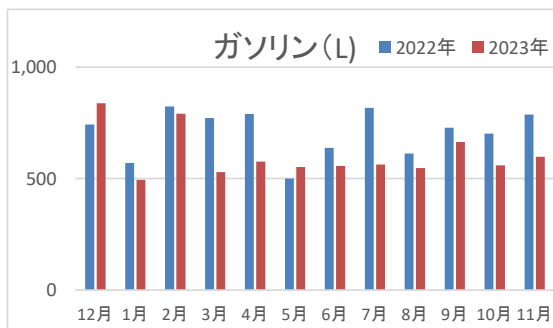


取組紹介欄



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	1,539	1,607	1,760	1,733	1,590	921	811	1,211	1,366	1,493	1,337	957
2023年	1,179	2,143	1,951	1,743	1,482	993	897	1,140	1,469	1,628	1,296	933

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	営業スタッフの自覚によるエコドライブの浸透と、一部ガソリン車からハイブリッド車に変更したことにより、走行距離は増えたにもかかわらず、CO2の排出は達成できた。次年度も順次ガソリン車からハイブリッド車への切り替えを推進。加えて車間距離の維持等エコドライブを心掛けるよう教育。
・エコドライブの浸透	○	
・不要な荷物は積まない	○	
・定期的な点検の習慣	○	

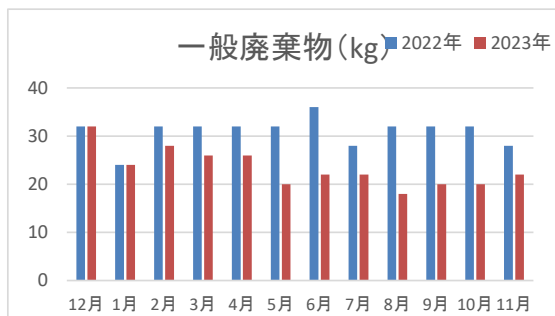


取組紹介欄



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	742	570	824	772	790	500	638	818	613	728	702	787
2023年	838	494	792	529	577	552	557	564	547	665	560	598

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	掲示物の効果による各社員の分別意識の向上。6月以降、コピー用紙の削減の為、裏紙利用とトイレトーパーメーカーへの原料として、再利用頂くルートに乗せることで廃棄しない体制を整えた。 次年度は、請求書などの電子化によるペーパーレス化を推進。
・分別の徹底	○	
・ゴミ箱の削減	○	
・ペーパータオルの禁止	○	
・持込ごみの見直し（ペットボトル・空き缶）	○	

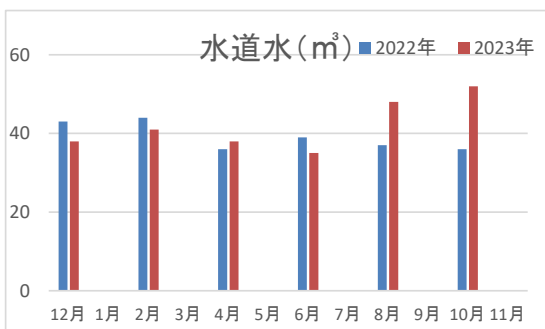


取組紹介欄



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	32	24	32	32	32	32	36	28	32	32	32	28
2023年	32	24	28	26	26	20	22	22	18	20	20	22

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	各社員の意識の向上が図れるようカラシ横に設けた節水シール等の効果により、上半期は総じて削減できたと評価するも、8月以降の使用量は増加しており、車の洗車等、事務所の外での管理できていない個所での問題が発生しているのではないかと判断。 次年度以降は、節水ノズルや水洗タンクの内容積を少なくするなどの施策以外に外3か所の節水対策を早急に講じる。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・手洗い時・洗い物においては、日常的に節水を励行・推奨	○	



取組紹介欄



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	43	0	44	0	36	0	39	0	37	0	36	0
2023年	38	0	41	0	38	0	35	0	48	0	52	0

(広報活動) (営業活動) (課題解決活動)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・発泡スチロールに対する正しい理解の普及と啓発	○	一朝一夕に売上に結び付くテーマが少ないため、新たに下に掲げたテーマも加え、2024年度も引き続き提案営業を継続し、生産性の向上に努めます。 ・使い捨てられることのない緩衝材の提案 ・非発泡射出成形品の代替品として、E P Pの提案 ・E Cサイトの立ち上げによるクッション関係の拡販 ・高槻市ふるさと納税返礼品として、自社商品を順次登録 ・チャットG P Tなど生成A Iの活用
・地域や関係団体の環境活動に積極的に参加	○	
・お客様に来ていただける営業スタイルの推奨	△	
・長期間使用される発泡スチロール製品の拡販	△	
・発泡ビーズを用いた快適・健康・省エネ商品の拡販	△	

取組紹介欄



鳥居



自動車シート芯材



ヘルメット芯材



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
浄化槽法	浄化槽の使用（保守・点検）
フロン排出抑制法	第1種特定機器（簡易点検 1回／3ヶ月）
消防法	消火器の保管
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期使用（エアコン・冷蔵庫）
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。



□外部からの環境上の苦情・要請等

苦情・要請等は、ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年 9月 2日	■実施場所 本社
■参加者： 環境管理責任者 始め 社長及び社員10名	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 消火器の保管場所・期限の確認及び消火訓練・避難訓練・通報	
■評価： 全員迅速な行動で避難できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
     	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年12月15日

冒頭のあいさつでも述べさせていただきました通り、当社において最も大切なことは、地球環境を守る活動「世間よし」と、弊社とかかわりを持つすべてのステークホルダーが幸せ「買い手よし」「売り手よし」になることを両立させることにあります。

ただ、様々な人との出会いを通じて感じることは、まだまだ世間の方々は、発泡プラスチックのみならず、プラスチックのことをよくご存じではないということでした。

全石油製品の内、約3%がナフサとなり、それが様々な化学反応の過程をへて、プラスチックとなりあらゆる生活の場面で有効に利用される商品となって人々の豊かな生活を支えていること。

そしてアスファルトとナフサを除く他の石油製品（ガソリン・灯油・軽油・重油）は、いきなり燃やされCO₂を排出しているということ。

さらには、分別回収を進める自治体ほど、生ごみ等の一般廃棄物を焼却する際に、燃焼を助けるために、いきなり燃やされる石油製品を無駄に投入していること。

一方、我々の取り扱う発泡スチロール製品は、2022年度の実績で、マテリアルリサイクル率は、51.8%、発電機能付きの焼却施設等で燃やされるエネルギーリカバリーという用途で40.5%使用されており、その有効利用率は92.3%に達しています。

他にも経年劣化なく断熱性能も維持し続ける優れた特性を、冷蔵庫・エアコン・エコ給湯機などに使って頂き省エネにも寄与、また建物そのものの気密性や断熱性能の向上に、なくてはならない存在となってきていることも、もっともっと広く大勢の方々に知って頂くためには、より一層スポークスマンとしての広報活動を行っていかねばならないことを痛感致しております。

そして、今般 エコアクション21なる活動を始めて2年が経ち、2023年度の活動が終わりましたので、各取り組み結果とその評価、及び次年度の計画について以下のとおりとりまとめ、次年度における指示も掲げておりますので、スタッフの皆様におかれましては引き続き目標達成のために協力並びに尽力頂きますようお願い申し上げます。

電力によるCO₂削減

本年1月2月においては、特に水道管が凍るなど、氷点下となる日が続いたことと、季節要因の高いバレンタインDay用の商材のオーダーが多岐に渡ったための時間外労働が増え、1・2月においてはその結果が出せなかった。

また上半期の結果を受け、特に夏場の対策として、それまで4箇所にしか設けていなかった温湿度計を計11個に増やし、客観的判断により、夏場の28℃、冬場の21℃をキープできる職場環境の維持に啓蒙活動含め、努力するも、8・9月に限っては平均気温で前年を2℃も上回る日が続いたことで、前年を下回る電力消費量をキープし続けることはできなかった。

次年度は、働き方改革による更なる残業時間の削減と、2023年度に行ったテストに基づき、冬場のエアコン暖房による温度設定は19℃でも、室温は、20℃～21℃になることが判明したので、19℃をわが社の冬場の標準設定温度として周知徹底を図って頂きたい。

自動車燃料によるCO₂削減

営業スタッフの自覚によるエコドライブの浸透と、一部ガソリン車からハイブリッド車に変更したことにより、走行距離は増えたにもかかわらず、CO₂の排出削減は達成できました。

同行営業等で同乗者が乗り合わせた際は、セーフティドライブ及びエコドライブの評価を採点し、その結果を運転者本人に伝えることで、その維持・管理に努めることとする。（※なお評価表の作成は、本年11月20日までにを行い、各営業車に配布するものとする。）としていたが、結果同行営業で同乗者が乗り合わせる事例が期間中3例しかなく、実際にその効果を把握するまでには至りませんでした。

次年度も順次ガソリン車からハイブリッド車への切り替えを推進して参ります。加えて車間距離の維持と信号機が赤になる予兆を察知した場合は、アクセルから足を放すなど予見と余裕を意識した運転を心掛けてください。

一般廃棄物削減

掲示物の効果による各スタッフの分別意識の向上並びに、廃棄物が出る量のそもそも少ない商品の購入（プラ容器に入ったコンビニ弁当の購入を控えるなどの対応）や、お弁当を持参するものが増えたことにより、削減できました。また6月以降、コピー用紙（シュレッダー含む）の削減のため、裏紙の利用とトイレトーパーメーカーへの原料として、再利用頂くルートに乗せることで廃棄しない体制を整えたため、前年対比で見た場合、前半よりも後半は、更に19%程の改善が進みました。

試作室や各人が出す分別前の廃棄予定物の置き場を設けない現行の施策は、生産性の向上を目指そうとする三か年計画のスローガンとの整合性が問われてもおかしくないと考えるので、廃棄予定物の仮置き場を設けるなど何らかの改善案を提起すべきなので、皆さんからの提案をRe.Apple通信にて募ります。

加えて次年度は、請求書などの電子化によるペーパーレス化を推進して参ります。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年12月15日

水道水の削減

各スタッフの意識の向上が図れるようカラン横に設けた節水シール等の効果により、前半は総じて削減できたと評価しますが、8月・10月の使用量は逆に跳ね上がっており、車の洗車等、事務所の外での管理できていないところでの問題が発生しているのではないかと判断します。

また物理的に節水できる仕組みや対策が実施されたわけではないため、次年度以降は、節水ノズルや水洗タンクの内容積を少なくするなどの施策も講じる必要があると考えます。

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み

①発泡スチロールに対する正しい理解の普及と啓発

社用車に発泡スチロールの有効利用率を示すマグネットシートを貼り、啓発活動を本年5月より実施しました。

高槻市庁舎内展示ブースで当社のPRとEPSに関する用途や有効利用率などの情報を1年間にわたって告知できました。しかも当初本年8月末までの契約でありましたが、高槻市の厚意で、その期間は、2024年3月末まで延長されました。

②長期間使用される発泡スチロール製品の拡販

カーシート芯材の売上が今年上半期で、前年対比1.89倍、またエコ給湯機用の断熱材が同2倍となるなどするも、結果的には下期生産機種変更等の原因により失速しました。

次年度も引き続き使い捨てられることのない緩衝材の提案、非発泡射出成型品の代替材料としてEPPの提案（原材料の使用を半減）、並びに他のカーシートメーカーとの口座開設等をはかるなどの提案並びに新規開拓は怠ることなく活動頂きたい。

③発泡ビーズを用いた快適・健康・省エネ商品の拡販

子どもたちの近業防止クッション（マザーハグ）のヘタレ防止提案が採用されました。その他の自社商品に関しては、次年度より高槻市のふるさと納税の返礼品として登録。

それに先立ち、燃やしても黒いススが出ず完全燃焼する、「ペット用の棺桶」が、その返礼品として10月に登録されました。

さらには、ECサイトのページの拡充をはかってまいります。

④地域や関係団体の環境活動に積極的に参加

本年11月11日に開催された高槻市主催の産業フェスタに出展。EPS製のBOXを如何に高く積み重ねて運ぶかというゲームを通して子供たちと触れ合うことができました。

次年度は、楽しいに+（プラス）発泡プラスチックに対する正しい知識・情報の提供や、様々な用途に使われている商品を実際に触れてもらうなど学びの要素も加え、更に理解を深める企画を考えるよう指示しました。

⑤お客さまに来ていただける営業スタイルの推奨

本年上半期来客数は281名、前年対比124%となりましたが、その後の伸びが鈍化、9月8日時点においては、413人で、前年対比で、3%程ダウンしていたものの、結果は前年実績510名に対して今年度は530名と、来客数は増えるも目標であった7%upには届きませんでした。

来期は550名の方々に来ていただけるよう対策を講じたい。

その施策としては、「来る度に、新しいものが増えてますねえー」とのお言葉を頂くことができるよう特に部屋の展示を見直すことと、営業スタッフ個人がスキルUPを果たし、来ていただけるだけの価値を持つことが最優先と考えます。

2/2

環境経営方針

☒ 変更なし

☐ 変更あり

環境経営目標・計画

☒ 変更なし

☐ 変更あり

実施体制他

☒ 変更なし

☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

